

番外編 1. カラマツ (人工林のカラマツ)



直径 7 3 c m



樹高 3 0 m

【解説】

現地は、県道塙大津港線を納戸林道の入口から 3 0 0 m ほど進み、作業道跡を 5 0 m ほど歩いたところにある。

カラマツは、中部地方以北では一時広く植林されたため、あちこちで見ることができるが、茨城県内で植林されたのは、北部のごく一部となっており、県内では珍しい樹種である。

このカラマツは、大正 8 年（1 9 1 9 年）に植栽された樹齢 9 0 年を越える高齢級林分である。カラマツは植えて 6 0 年程度が過ぎると心腐れの発生する頻度が高いとも云われる。高齢級間伐の対象林分であることからそのことを確認してみたい。カラマツ林は葉の着生具合等から林内が明るいため間伐、択伐による針広混交林化の施策を実施するには最適な所でもある。

今回、伐採対象林分ではあるが、番外編として紹介した。

【所在地】

北茨城市関本町小川字和尚山国有林 1 0 1 4 か林小班内

北緯 3 6 ° 5 4 ' 9 " 東経 1 4 0 ° 3 5 ' 3 9 " 付近